

【報道関係各位】

2017年4月18日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会 ゴールデンウィーク（GW）の天気傾向を発表 ～ 関東から九州を中心に、お出かけ・レジャーに適した日が多い ～

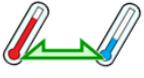
一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、ゴールデンウィーク（以下、GW）期間〔2017年4月28日（金）頃から5月7日（日）頃〕の天気傾向に関する情報を発表します。

◇GW（4月28日頃～5月7日頃）の天気傾向

- 関東甲信から九州を中心に、晴れて気温も高く、お出かけ日和となる日が多い
- 北海道・東北は寒暖差が大きく、GW後半には冷え込む日がありそう
- 奄美・沖縄は曇りや雨の日が多い

2017年4月18日 発表  日本気象協会

2017年GW*の天気傾向

	天 気	気 温	レ ジ ャ ー
北海道・東北 (北日本)	 ・太平洋側を中心に 晴れる日が多い	 ・寒暖差が大きく 冷え込む日もありそう	 ・函館・札幌はGW中に桜の 見頃を迎える
関東甲信～九州 (東・西日本)	 ・晴れる日が多い	 ・平年より高く 蒸し暑く感じる日も	 ・屋外のレジャーでは 紫外線対策をしっかりと
奄美・沖縄 (南西諸島)	 ・曇りや雨の日が多い	 ・平年並みか高く 半袖で過ごせる日も	 ・沖縄付近の海面水温は 平年より高い見込み

※ GW：2017年4月28日頃～5月7日頃

GW（4月28日頃～5月7日頃）の日本付近は、低気圧と高気圧が交互に通過し、北海道から九州にかけては天気が数日の周期で変わるでしょう。ただし、北海道・東北の太平洋側と関東甲信から九州では、晴れる日の方が多くなる見込みです。また、関東甲信から九州では南から暖かい空気が入り込むため、気温も平年より高い状態が続き、お出かけやレジャーに適した日が多いでしょう。

なお、北海道・東北では気温の寒暖差が大きく、特にGW後半（5月3日頃～7日頃）は強い寒気の南下で冷え込み、北海道の標高の高い山では雪になる可能性があります。

奄美・沖縄は湿った空気の影響を受けるため、曇りや雨の日が多い見込みです。ただし、半袖で過ごせる程に気温が高いため、蒸し暑く感じる日が多いでしょう。GWの終わり頃には、平年より早く梅雨入りの発表があるかもしれません。



【各地域の天候のポイント】

◇北海道・東北（北日本）

- ・太平洋側を中心に、晴れる日が多い見込み。
- ・気温は寒暖差が大きく、GW後半（5月3日頃～7日頃）には冷え込む日もあり、北海道の山では雪の可能性も。
- ・東北北部の桜の見ごろはGWのはじめまで（4月30日まで）だが、函館や札幌はGW中に桜の見頃を迎える予想。

◇関東甲信～九州（東・西日本）

- ・晴れる日が多く、気温も高く経過するため、お出かけやレジャーに適した日が多い見込み。ただし、湿度が高く蒸し暑く感じる日もありそう。
- ・紫外線が強い時期のため、屋外でのレジャーではしっかりした紫外線対策が必要。
- ・東京湾では、GW前半（4月28日頃～5月2日頃）が潮干狩りに最適な潮汐となる見込み。

◇奄美・沖縄（南西諸島）

- ・湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多い見込み。
- ・気温は平年より高く、半袖で過ごせる日も多いが、ぐずついた天気のため蒸し暑い日が続くそう。
- ・沖縄付近の海面水温は平年より高く、海水浴に適した水温となる見込み。

なお4月25日（火）には、最新の10日間予報を元にした、各地のGW前半（5月4日まで）の詳細な天気に関する情報を発表する予定です。

本情報は2017年4月18日時点の予測資料から作成したものです。最新の気象情報は日本気象協会の天気予報専門メディア「[tenki.jp](http://www.tenki.jp/)」<http://www.tenki.jp/>でご確認ください。

以上